

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー : アート & ファッション ILAS Seminar : Art & Fashion		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Disaster Prevention Research Institute Program-Specific Professor, TOSA NAOKO	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・First semester		Quota (Freshman) 20 (15)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Thu.5
Classroom				Language of instruction	Japanese
Keyword	デジタルアート / ファッション / デジタル捺染 / 音の可視化 / ハイスピードカメラ				
[Overview and purpose of the course]					
<p>現在の防災服は、カッコよさは求められていない。 また、現在のファッションも防災的機能は意識されていない。 早朝に地震が起こった時、そのままの服で逃げたら？ 普段の服が防災服になれば、外に出る時に、もっと時間が短縮され、助かる命が増えるかもしれない。</p> <p>自分の心音を録音し、その音をハイスピードカメラで可視化し、そのコマを使って、デジタル捺染で防災に有効な服を考えて、デザインする。</p> <p>その体験から、音、映像、服がデジタルで繋がることからデジタルとアートとファッションの関係を学ぶ。</p>					
[Course objectives]					
服にデジタル技術と防災機能を取り込み、社会や産業にインパクトをもたらす創造的（アートな）な価値を作り出すこと。					
[Course schedule and contents]					
<p>授業回数はフィードバックを含め全15回とする。</p> <p>以下の要素について研究をしながら、作品を仕上げていく。</p> <p>1 グループで防災対応できるファッションを考えて企画する</p> <p>2 録音した音を、スピーカーで再生し、ハイスピードカメラで動画撮影する</p> <p>3 上記で撮影した動画からクリエイティブな1コマを選ぶ</p> <p>4 上記から選んだコマを防災をテーマにしたファッションのデジタルパターンに入れてファッションデザインをする</p>					
----- Continue to ILASセミナー : アート&ファッション(2) -----					

ILASセミナー：アート&ファッション(2)

5 上記を特殊な紙で印刷し、生地デジタル捺染する

6 上記の生地をミシンで裁縫する

7 映像のデジタル編集を学び作品化

8 講評

[Course requirements]

映像制作とアートに興味があり、コンピュータの基本操作ができること。
ミシンが扱えればなお良い

[Evaluation methods and policy]

レポート、作品制作、平常点の合計で評価を行う。詳細は授業中に説明する。

[Textbooks]

土佐尚子 『TOSA RIMPA』（淡交社）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

（Related URL）

<https://tosa.dpri.kyoto-u.ac.jp/fashion-week-brooklyn/>

[Study outside of class (preparation and review)]

参考になる映像や展覧会を見る。

[Other information (office hours, etc.)]

・オフィスアワー：午後6時～7時

・色彩の区別を伴う課題に各自取り組んでいただきます。

[Essential courses]